

IC（インフォームドコンセント）

駒込病院 腫瘍内科において、

ICとはいろんなことを相談して、納得・安心のできる治療にするための説明です

ICを受けるときのコツ



①前もって聞きたいことをメモにしておくとう便利！



②IC中、録音しても構いません

腫瘍内科ではパンフレットや説明文書をお渡しして、あとから振り返ることができるようにしています。



③なるべく家族やキーパーソンとなる人と一緒に説明を受けましょう

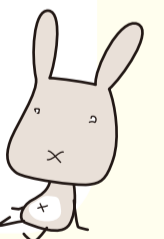
バラバラに説明をすると理解が食い違ってしまうことがあります。
ご家族に説明する場合もキーパーソンとなる方を決めていただき、その方を窓口として他のご家族や親戚の方に伝えていただく形をとっています。



④患者さん自身が中心です

治療の中心は患者さんです。
基本は患者さん抜きでのICはしません。

自分の治療方針が、知らない所で勝手に決められたら不信感が芽生えることがあります
嫌な話であったとしても最初に伝えるのは患者さん本人です
ただし、どうしても患者さんが聞きたくない、ご高齢で負担がかかる場合はキーパーソンの方を中心に相談をしてゆくこともできます



⑤治療には薬以外のことも含まれます

抗がん剤と上手に付き合うには生活のサポートも大切です。
家族のバックアップや仕事のこと、治療費も大切なことです。
駒込病院では「患者サポートセンター」でこのような相談にも対応しています。